

指定管理者の評価に係る合議の概要

施設名	箕面市立医療保健センター
指定管理者名	一般財団法人箕面市医療保健センター
開催日	令和6年（2024年）10月10日（木）
開催場所	箕面市立総合保健福祉センター 2階 会議室3・4
合議の出席者	公益社団法人箕面市シルバー人材センター 白川 正人 氏 公益財団法人箕面市メイプル文化財団 伊藤 万由 氏 社会福祉法人箕面市社会福祉協議会 松浦 和平 氏 一般財団法人箕面市障害者事業団 高橋 正信 氏

【概要】別添のとおり

内容

令和6年10月10日（木）に箕面市立総合保健福祉センター会議室3・4にて、指定管理者にかかる合議を実施いたしました。その中で下記のようなご意見を合議メンバーからいただき、指定管理者から説明がありました。

1) 合議メンバーからの主な意見と意見に対する説明

■ホームページに関して

（意見）

医療保健センターのホームページ画面の作りに古さを感じるので、新しい仕様へ変えられないか。ホームページを新しくするだけでも第一印象が違おうと思う。

（説明）

ホームページをリニューアルするためにはソフトを変える必要があり、どのようなソフトを導入するか検討する。

（意見）

ホームページに載せている交通アクセスの内容について、新駅からの順路等も入れて更新を行った方が良い。

（説明）

市のホームページに準じた内容に更新を行う。

■受診者数に関して

（意見）

新型コロナウイルス感染症の影響により減少した利用者数が未だ回復しない理由は何か。施設の傾向として何か分析されているのか。

（説明）

女性に比べて男性は利用者数が回復しているなどといった傾向は分析しているが、施設特有の理由は不確かな状況。引き続き市と連携し、積極的な受診勧奨を行っていく。

■オンライン予約に関して

（意見）

予約方法が電話受付となっているが、オンライン予約を導入することで、予約事務がスムーズになるのではないか。

（説明）

受診者が属する健康保険や市町村によって健診料金への助成額に違いがあり、受診者が支払う窓口負担額が変わってくることから、電話等により直接聞き取りを行い丁寧な対応に努めている。また、高齢者やリピーターも多いことから、昨年の検診項目等を確認しながら直接対話することで、受診者に最適な健診（検診）の案内が可能となっている。

(意見)

民間の健診機関ではオンライン予約を導入している数は少ないのか。

(説明)

オンライン予約の導入をしている健診機関は少なくないが、健康保険組合等の助成がある場合などは直接健診機関とのやり取りとなっている場合が多い。

2) 総評

経営状態としては、令和4年度と比較すると黒字幅は減少しているものの黒字経営となっています。また、利用者アンケートの総合的な満足度も高く、特に職員の接遇に関しては高い評価を受けており指定管理者として円滑な運営を行っていることを、市として評価いたします。